

The logo for GSI Creos, featuring the text "GSI Creos" in white on a teal background. The background of the entire page features a large teal vertical bar on the left side, with several horizontal teal bars of varying lengths and shades of teal overlapping it.

GSI Creos

Produce the Future

次代を創る

第81期 株主通信

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

株式会社 GSIクレオス

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災により被災されたみなさまには、心からお見舞い申し上げます。

さて、当社は第81期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針のもと、目標利益の確保ならびに経営基盤の強化に総力をあげて取り組んでまいりました。

その結果、期初に掲げた目標は概ね達成することができましたが、配当につきましては財務基盤の充実を図るため、無配とさせていただきます。株主のみなさまにはまことに申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

当社創立80周年を迎える新年度におきましては、復配を目標にグループ一丸となって邁進する所存でありますので、なにとぞ格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

取締役社長

深瀬佳洋



第81期の業績

当期におけるわが国経済は、経済政策の効果や輸出の回復などにより企業収益に持ち直しの兆しがみられたものの、長引くデフレや個人消費の冷え込みが続くなど依然厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針のもと、目標利益の確保ならびに経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当期業績につきましては、アジア向け取引を中心とする海外取引が拡大しましたので、売上高は前期比3,987百万円、3.6%増収の116,024百万円となりました。

売上総利益は、売上高が増加しましたので、前期比33百万円、0.3%増益の12,795百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の減少により、前期比197百万円、11.7%増益の1,891百万円となりました。経常利益は前期比215百万円、17.8%増益の1,427百万円となりました。当期純利益は、事業撤退特別損失254百万円等を計上しましたので、前期比横ばいの828百万円となりました。

次期の見通し

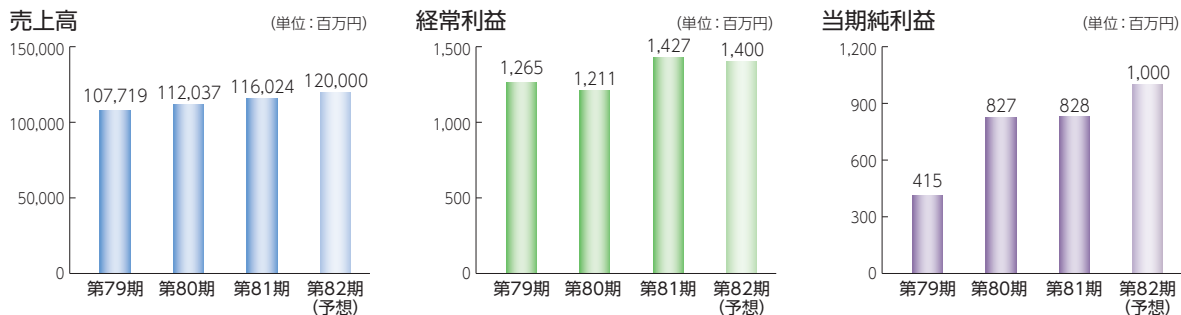
今後の経営環境につきましては、世界経済は、新興国を中心に緩やかな回復基調が継続するものの、わが国経済は、東日本大震災の影響により、企業収益の改善速度は鈍化し、個人消費の回復にも依然不透明感があることから、楽観できない状況が続くものと思われます。

こうした状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針を踏襲し、収益基盤の強化を図るとともに、財務体質の改善を進めてまいります。

次期の連結業績につきましては、売上高120,000百万円、営業利益1,800百万円、経常利益1,400百万円、当期純利益1,000百万円を見込んでおります。

なお、ナノテクノロジー事業は、当社独自の構造であるカップ積層型カーボンナノチューブ『カルベール』を用いた塗料や複合材料に加え、燃料電池用途の触媒開発においても成果があらわれてまいりましたので、これらの有望分野に集中し、事業パートナーとの連携をさらに深めながら、事業の拡大を進めてまいります。

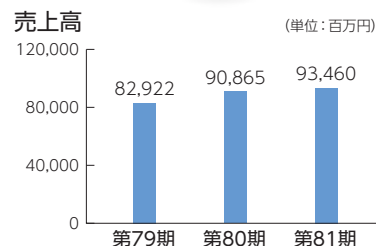
業績の推移(連結)



繊維事業 主要商品：繊維原料、テキスタイル、レッグ・インナー・アウターウェア 他

(売上高 93,460百万円 前期比 2.9%増)
(営業利益 1,611百万円 前期比 2.9%減)

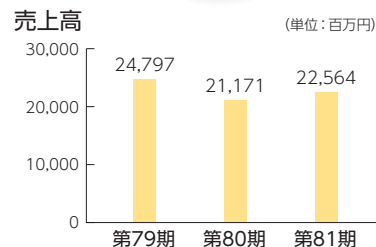
- 機能性の高いインナー用原糸および生地が取引が大幅に伸長し、消費者ニーズを踏まえた企画提案型の婦人ファンデーションの取引も引き続き堅調に推移しました。しかしながら、肌着などの実用衣料は、消費者の低価格志向や買い控えにより引き続き低迷しました。
- 米国および韓国向けアウター用生地の出取引は増加しました。一方で、婦人アパレル事業は直営店における販売強化や収益構造の改善に努めましたが、天候不順による秋冬物の不調だけでなく、東日本大震災の影響もあり、苦戦を強いられました。また、同様に、OEMの取引も、アパレルメーカー等の販売不振に加え、中国における生産コストが上昇したことから、収益が低迷しました。



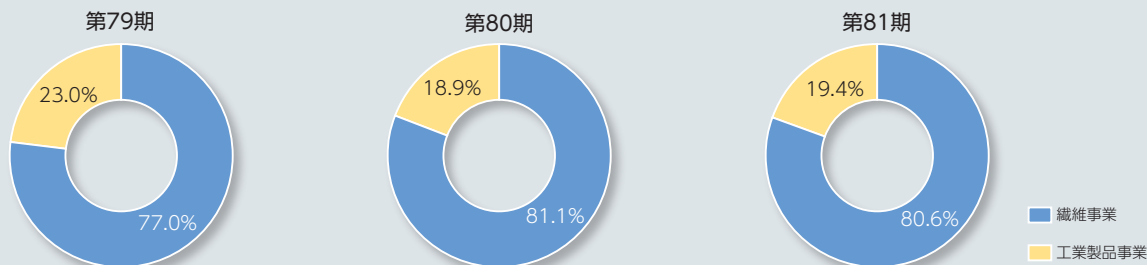
工業製品事業 主要商品：機械、化成品、理化学機器、ホビー 他

(売上高 22,564百万円 前期比 6.6%増)
(営業利益 822百万円 前期比 1.3%増)

- 生産調整の進展や設備投資の回復により、樹脂などの工業用材料の取引が増加しました。特に、エレクトロニクス関連機材や米国における化学製品の取扱いが堅調に推移しました。また、オリジナリティの高い化粧品原料の輸入取引は円高の影響もあり、収益が向上しました。
- プラモデル用塗料関連商品については、塗料の取扱いは減少したものの、一部の塗装用器具の取扱いが他用途への展開により伸長しました。



売上高構成比



■ 環境認証 (KES認証) を取得

当社は、国際規格である「ISO14001」の簡易版と位置付けられている環境認証 (KES認証: KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2) を本年3月に本社において取得しました。

今回の認証取得の目的は、当社の経営理念にもとづき、環境保全に取り組むことで、社会からこれまで以上に信頼される企業となることを目指すと同時に、より多くの人や組織とともに環境にやさしい企業活動を推進することにあります。

今後は、同認証の取得活動を当社の全事業所へ順次拡大していくとともに、社員に対する環境改善啓蒙活動を引き続き徹底して行うことで、より一層環境保全に努めてまいります。

また、東日本大震災の影響による電力不足に対応するための節電をはじめとする環境負荷低減が注目されており、この認証取得を機に新たなビジネスの創出に向け、認証の活用にも取り組んでまいります。

(注) KESとは、京都を拠点とするNPO法人「KES環境機構」が管理する環境マネジメントシステムの規格です。



KES登録証

■ ナチュラル系ブランド「マシュカシュ」への取組みを強化

当社は、ナチュラル系レディスカジュアルブランド「マシュカシュ」への取組みを強化しています。

綿や麻などを使ったナチュラル系ファッションに対するニーズが高まる中、「マシュカシュ」ではターゲットを20代～30代女性に設定し、当社にとって新たな世代の顧客獲得とともに、雑貨店を中心とする新たな販売先を開拓することによる販売拡大を目指しています。ターゲットとなるお客様と同じ視点に立った事業展開を可能にするため、20代女性社員のみで構成されるチームに商品の企画・生産から販売までを任せています。

本年度は、ナチュラル系女性ファッション誌「リンネル」での通信販売や大手百貨店においてのイベント出店を開始するなどの新たな施策を実施しました。今後も、販売プロモーション活動を積極的に推進し、ブランドの知名度アップと新たな販路の開拓を行ってまいります。



2011年サマーコレクション



イベント出店の様子
(阪神百貨店 梅田本店にて)

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
流動資産	44,388	42,968
現金及び預金	9,425	9,838
受取手形及び売掛金	25,792	24,709
たな卸資産	8,333	7,777
その他	837	642
固定資産	10,642	11,001
有形固定資産	5,590	5,688
無形固定資産	116	81
投資その他の資産	4,935	5,232
資産合計	55,031	53,970
流動負債	38,303	41,448
支払手形及び買掛金	18,828	16,869
短期借入金	16,791	21,870
その他	2,683	2,707
固定負債	5,798	2,056
長期借入金	4,481	582
その他	1,317	1,474
負債合計	44,102	43,504
株主資本	12,133	11,306
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	4,092	3,264
自己株式	△54	△52
その他の包括利益累計額	△1,277	△932
少数株主持分	72	90
純資産合計	10,928	10,465
負債純資産合計	55,031	53,970

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期	前期
	平成22年4月1日～平成23年3月31日	平成21年4月1日～平成22年3月31日
売上高	116,024	112,037
売上原価	103,228	99,275
売上総利益	12,795	12,761
販売費及び一般管理費	10,903	11,067
営業利益	1,891	1,694
営業外収益	279	282
営業外費用	744	764
経常利益	1,427	1,211
特別利益	24	55
特別損失	354	136
税金等調整前当期純利益	1,096	1,131
法人税等合計	267	298
少数株主損益調整前当期純利益	829	—
少数株主利益	1	4
当期純利益	828	827

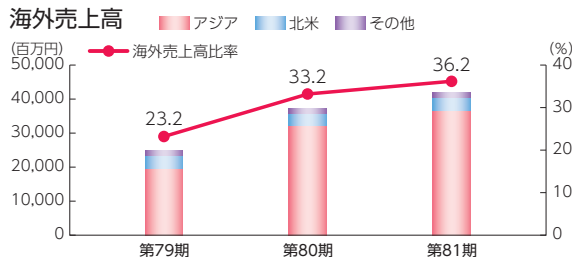
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

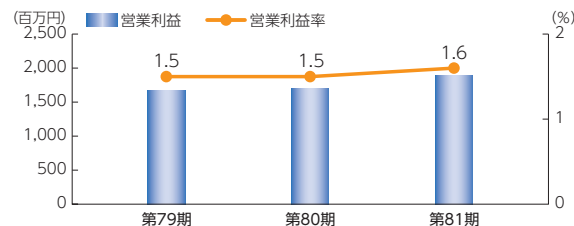
科 目	当期	前期
	平成22年4月1日～平成23年3月31日	平成21年4月1日～平成22年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,049	3,141
投資活動による キャッシュ・フロー	△178	△159
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,194	△1,550
現金及び現金同等物の 期末残高	9,425	9,838

業績指標(連結)

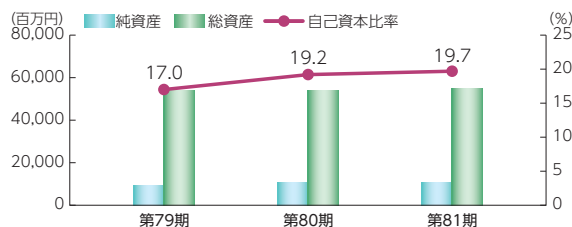
海外売上高



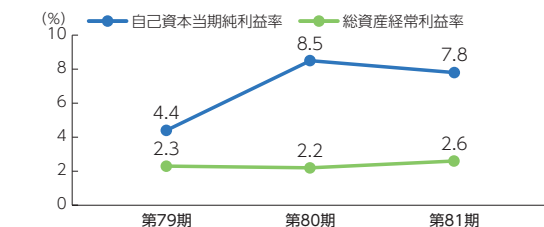
営業利益(百万円)／営業利益率(%)



純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



自己資本当期純利益率(%)／総資産経常利益率(%)



単体財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
流動資産	34,963	34,137
固定資産	11,400	11,877
資産合計	46,363	46,014
流動負債	31,984	35,690
固定負債	5,178	1,297
負債合計	37,162	36,987
純資産合計	9,200	9,027
負債純資産合計	46,363	46,014

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日～平成23年3月31日	平成21年4月1日～平成22年3月31日
売上高	84,331	81,701
売上総利益	8,722	8,912
販売費及び一般管理費	8,068	8,297
営業利益	654	615
経常利益	841	451
当期純利益	342	487

会社概要

■ 会社の概要 (平成23年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
設立	1931年10月31日
資本金	71億86百万円
従業員数	517名(連結)
営業所等	本社(東京都千代田区) 大阪支店(大阪市中央区) 柳橋営業所(東京都台東区) 五反田営業所(東京都品川区) 福岡営業所(福岡市博多区) 北陸営業所(福井県福井市) ナノカーボン開発センター(川崎市川崎区) 東京ベイ物流センター(千葉県船橋市)
海外拠点	13ヵ所(現地法人および駐在員事務所)

■ 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,359,399株 (自己株式290,316株を除く)
株主数	7,213名

■ 大株主(上位10名) (平成23年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.48
株式会社みずほ銀行	3,182	4.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,775	4.31
日本生命保険相互会社	2,586	4.02
東レ株式会社	1,982	3.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,266	1.97
日本興亜損害保険株式会社	1,119	1.74
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	702	1.09
日本証券金融株式会社	684	1.06

(注) 持株比率については、自己株式(290,316株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

■ 連結子会社 (平成23年3月31日現在)

国内	株式会社セントラル科学貿易 大三紙化工業株式会社 株式会社オフィス・メイト 株式会社ジーマーク 株式会社いずみ 丸一産業株式会社
海外	GSIホールディング社 GSIアメリカ社 GSI香港社 GSI上海社

■ 役員 (平成23年6月29日現在)

取締役会長	加藤元信
代表取締役社長	深瀬佳洋
代表取締役専務取締役	中島浩二
常務取締役	宮崎満
常務取締役	松下康彦
取締役	吉永直明
取締役	田中正道
取締役	中山正輝
常勤監査役	石川均
監査役	姉崎瑛一
監査役(社外)	山口健治
監査役(社外)	岩田紀治
執行役員	
浅野幹雄	冲田陽二
荒木靖司	

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.gsi.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。